

や、上翅条線が肩部も含め明瞭である特徴をもつことから、本種1種からなる *tomentosa* 種群に含まれる。

引用文献

- Fleutiaux, E., 1924. Remarques sur les especes du genre *Pterotarsus* Guérin (Coleoptera, Melasidae). Annales de la Société Entomologique de France, Paris, 92: 301–309.
- Fleutiaux, E., 1926. Catalogue raisonné des Melasidae des Iles Philippines. Annales de la Société Entomologique de France, Paris, 95: 29–90.
- Fleutiaux, E., 1947. Révision des Eucnémides (Coléoptères) de l'Indochine française. Notes d'Entomologie Chinoise, Changhai, 11: 1–68.
- Gardner, J.C.M., 1936. Immature stages of Indian Coleoptera (17) (Eucnemidae). Indian Forest Records, N. S., 1(4): 79–93, pls. I–II.
- Hisamatsu, S., 1980. The genus *Pterotarsus* Guérin-Méneville in Japan (Coleoptera, Eucnemidae). Transactions of the Shikoku Entomological Society, Matsuyama, 15(1–2): 27–30.
- 久松定成, 1985. コメツキダマシ科. 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編著, 原色日本甲虫図鑑 (III) pp. 42–51 (pls. 8–9). 保育社, 大阪.

- Lea, A.M., 1919. Descriptions of new species of Australian Coleoptera. Part xiv. Proceedings of the Linnean Society of New South Wales, Sydney, 43: 715–746.
- Montrouzier, P., 1855. Essai sur la faune de l'île de Woodlark ou Moïou. Annales des Sciences Physiques et Naturelles d'Agriculture et d'Industrie, Lyon, 7(1): 1–70.
- Muona, J., 1991. A revision of the Indomalasian tribe Galbitini new tribe (Coleoptera, Eucnemidae). Entomologica Scandinavica, Supplement, (39): 1–67, 138 figs.
- 中根猛彦, 1987. クシヒゲチャイロコメツキダマシの記録. 北九州の昆虫, 34(1): 6.
- 笹岡康則・木野田毅, 2010. クロビロウドコメツキダマシの宮崎県の記録. 月刊むし, (467): 40.
- 鈴木 互, 1998. 生木から脱出したピロウドコメツキダマシ. 甲虫ニュース, (123): 8.
- 鈴木 互, 2001. 台湾におけるクロビロウドコメツキダマシの記録. 月刊むし, (360): 51.
- 田中 稔, 2005. クロビロウドコメツキダマシ屋久島の記録. 甲虫ニュース, (151): 22.

(2012年5月18日受領, 2012年5月22日受理)

【短報】鹿児島県喜界島で採集されたアマミヒゲコメツキ

喜界島は、奄美群島の北東部に位置する島で、これまでに8種のコメツキムシが確認されている(岸井, 1999; 今坂・祝, 2007). 最近筆者は、青木淳一博士が喜界島で採集されたコメツキムシの標本の中から、これまで同島から記録のなかったアマミヒゲコメツキ *Pectocera amamiinsulana* Nakane, 1957 を見いだすことができたので、ここに記録しておきたい。

1♂, 鹿児島県大島郡喜界町(喜界島)裏原～花良治, 4. III. 2012, 青木淳一採集(筆者保管).

本種はこれまでに奄美大島と徳之島から記録があるが、徳之島のものは、細い体形、長い触角、不明瞭な上翅斑紋、短い雄交尾器側片先端部など、基亜種と異なる特徴をもつことから Kishii (1996) により別亜種 *P. a. ogatai* に区別されている。

今回得られた個体は、体長 22 mm とやや小型で、体形においても徳之島亜種のものに似ていたが、雄交尾器側片先端部の形状は細長く、奄美大島基亜種の特徴と一致するものであった。また、触角の長さや上翅斑紋の状態においては、本個体と奄

美大島基亜種や徳之島亜種とはっきりと区別することはできなかった。今回は、調査することができた個体が雄1個体と少なく、亜種についての判断を持つことができなかったが、今後、各島の個体を十分にそろえた上で比較検討をおこないたい。

最後に、貴重は標本を採集され、ご恵与くださった東京都の青木淳一博士、並びに文献面でお世話になった久留米市の今坂正一氏に厚くお礼申し上げます。

引用文献

- 今坂正一・祝 輝男, 2007. 喜界島で2007年に採集した甲虫. SATSUMA (鹿児島昆虫同好会会報), 57 (137): 119–129.
- Kishii, T., 1996. Notes on Elateridae from Japan and its adjacent area (14). Bulletin of the Heian High School, Kyoto, (39): 1–40, pls. 1–8.
- Kishii, T., 1999. A catalogue of the family Elateridae (Coleoptera) of Japan. Bulletin of the Heian High School, Kyoto, (42): 1–144.

(鈴木 互 法政大学第二高等学校生物科)